

中央公民館：0869-22-3761  
長船町公民館：0869-26-2501  
牛窓町公民館：0869-34-5663



**シニアのための写真塾**  
孫を100倍かわいく撮る  
GOTO AKI・木村文平…監修 祥伝社  
最近では価格も手ごろになったデジタル一眼レフカメラ。その機能を生かして、すてきな写真を撮りませんか。シニア以外にも活用してほしい「人物を撮るための入門書」です。

今月の月末図書整理日（お休み）は、**1月31日（木）**です。  
※長船町公民館図書室は、1月29日、30日、2月1日も図書の整理のため、お休みです。  
■貸し出し・問い合わせ先  
瀬戸内市立図書館 ☎0869-22-3761  
長船町公民館図書室 ☎0869-26-2501  
牛窓町公民館図書室 ☎0869-34-5663  
HP <http://lib.city.setouchi.lg.jp/index.htm>

## 男性料理講座 男の台所

公民館の男性料理講座「男の台所」。今回は、鍋料理をテーマに開催します。  
寒い時期にぴったりの鍋料理を学んで、家庭でも鍋を囲んで温かいひとときを過ごしませんか。

- ▽日時 平成25年2月7日（木）  
午前9時30分～午後1時
- ▽場所 長船町公民館
- ▽講師 徳持朝香さん
- ▽参加費 300円（年間登録料）と材料代



- ▽持ち物 三角巾、エプロン、布巾（食器用）、持ち帰り用容器、餅1個
- ▽定員 20人
- ※平成25年1月4日（金）から受付開始。先着順・定員になり次第締切。
- 問い合わせ先  
長船町公民館

## わくわくチャレンジ 百人一首とぜんざい作り

1月のわくわくチャレンジは、「百人一首をしよう」と「ぜんざいを作ろう」です。  
百人一首では、いろいろな遊び方を教えてもらえるので、初めての人も楽しんで参加することができます。  
お正月の雰囲気味わいながら楽しいひとときを過ごしましょう。

- ▽日時 平成25年1月12日（土）  
午前10時～午後0時30分
- ▽場所 長船町公民館
- ▽講師 水田正子さん
- ▽参加費 無料
- ▽持ち物 三角巾、エプロン、布巾（食器用）、餅1個
- ▽定員 なし
- ※平成25年1月4日（金）から受付開始。
- 問い合わせ先  
長船町公民館



楽しみながらバレンタインスイーツを作りませんか

## わくわくチャレンジ バレンタインスイーツ作り

2月のわくわくチャレンジで、バレンタインスイーツ作りに挑戦しませんか。  
手軽に作れるチョコレートを使ったレシピです。

- ▽日時 平成25年2月2日（土）  
午前10時～正午
- ▽場所 中央公民館（邑久）
- ▽講師 中央公民館職員
- ▽参加費 300円（材料代）
- ▽持ち物 三角巾、エプロン、布巾（食器用）、マスク、持ち帰り用容器
- ▽定員 15人
- ※平成25年1月4日（金）から受付開始。先着順・定員になり次第締切。
- 問い合わせ先  
中央公民館



## 1年生から読める日本の名作どうわ 魔術

芥川龍之介…作 丹地陽子…絵 宮川健郎…編 岩波書店

ある時雨の降る晩のこと、小さな西洋館で「わたし」は不思議な魔術を目にします。誰でも使えたと知り、教えてくれるよう頼みますが…。脚注もついているため、子どもでも日本語の美しさも味わいながら内容を楽しむことができます。また、挿絵が不思議な作品のイメージを引き立てています。

# 瀬戸内発見伝

巻の九十六

## 時代を駆け抜けた女性の日記

瀬戸内市の女性の日記が本になりました。

日記を書いたのは吉田得子。明治24（1891）年邑久郡本庄村の正富家に生まれ、その後、笠加村の吉田閑治と結婚し、一子を産み育てた女性です。  
彼女は、西大寺高等女学校を卒業した後、小学校の教員となり、昭和4（1929）年（現牛窓北小学校）などに勤務し、昭和44（1969）年に退職するまで約20年教員をつとめました。退職後は、夫と「吉田ラジオ店」を開業し、ラジオ商の妻として活躍しました。

得子は、教員生活や商売を通じて地域のリーダー的存在になったようです。戦後、笠加村婦人会長に就任し、昭和22（1947）年には笠加村議会議員に当選しています。  
当地域における女性の社会進出を先頭に立って牽引した人物と言えるのではないのでしょうか。

## 女性の日記に学ぶ会

得子の日記は、明治40（1907）年、16歳のときに始まり、満83歳で亡くなる昭和49（1974）年まで書き綴られ、現在62冊が保存されています。そのうち、明治40年から昭和20年までについて

活字化され、出版されました。日記を保存し、出版したのは千葉県を拠点に活動する「女性の日記から学ぶ会」（会長・島利栄子）です。

この会では、明治・大正・昭和という時代を駆け抜けた得子の日記に魅せられ、「得子日記研究班」を発足させました。

こつこつと研究を続け、15年が経過したところ、出版を決意しました。それから入力、編集などでさらに1年半をかけて、ようやく出版に至りました。

## ラジオの普及

日記からは、当時の暮らしを垣間見ることができ、特にラジオに関する記述は貴重な証言です。  
日本初のラジオ放送は大正14（1925）年とされてい

ます。3月に仮発信所から第一声が放送され、7月12日に東京で本放送が始まっています。  
得子の日記には、早くもこの年の7月14日に、「四校時にて西大寺へ行く。（中略）アンテナラジオの取り付けしるを見る」というラジオの記述が登場します。  
また、9月5日には「ラジオの放送を学校にてきく日にて、（中略）いたく風吹きあれて恐ろしき程なりしも、割合によくきこえたり」とあります。

この時代の瀬戸内市の暮らしが実際にはどうだったのか、日記には公式記録などに現れない部分もあり、地域の貴重な資料となっています。



『時代を駆ける 吉田得子日記 1907-1945』  
女性の日記から学ぶ会…編  
島利栄子・西村榮雄…編集責任  
みずのわ出版 10,500円（税込）

瀬戸内市立図書館、長船町公民館図書室、牛窓町公民館図書室で借りることができます。